

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	心臓外科手術後の日常生活動作や身体機能低下に関連する因子について
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) リハビリテーション医学講座(職名) 教授(氏名) 尾川貴洋
研究の対象となる方	2019年1月から2023年12月までに心臓外科手術を受けた患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2028年12月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>心臓外科手術後のリハビリテーションは身体機能、生活の質、術後在院日数を改善するため推奨されていますが、一定数の患者さんはこの機能が回復せず、日常生活動作(Activities of Daily Living, 以下ADL)や身体機能が低下したまま退院しています。そこで本研究ではどのような患者さんがADLや身体機能の低下が起りやすいかを明らかにすることを目的としています。</p> <p>[利用方法]</p> <p>入院中に診療・治療上の検査・測定や問診によって得られた研究対象者さんの基本情報、医学的情報、理学療法評価を収集してデータ登録を行います。これらの情報をさまざまな統計手法を用いて、①心臓外科手術を受けた患者さんのADLや身体機能の低下の発生率を明らかにすること、②ADLや身体機能の低下が発生した患者さんの要因を明らかにすることを行います。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、血液検査結果、手術所見、ADL、身体機能等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用す	非該当

る学外の者	
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年9月30日までに電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 リハビリテーション部 担当者：(職名) 理学療法士 (氏名) 山本将大 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 36900)